

船舶事故調査報告書

平成31年3月13日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）
委員 田村 兼吉
委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員死亡
発生日時	平成30年8月26日 15時27分ごろ
発生場所	岡山県倉敷市水島港玉島ハーバーアイランド南南西方沖 水島港玉島防波堤灯台から真方位200° 2.3海里（M）付近 （概位 北緯34° 27.6′ 東経133° 38.8′）
事故の概要	水上オートバイエイボウ号は、航行中、船長が落水して溺死した。
事故調査の経過	平成30年9月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ エイボウ号、0.2トン 271-36200岡山、個人所有 2.93m（Lr）×1.16m×0.44m、FRP ガソリン機関、144.2kW、平成17年4月
乗組員等に関する情報	船長 男性 42歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成8年4月23日 免許証交付日 平成27年5月7日 （平成33年4月22日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	不明
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風速 約2m/s、視界 良好、気温 約34℃（笠岡） 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、プレジャーボート1隻に船長の知人7人が乗り、平成30年8月26日14時30分ごろ岡山県笠岡市北木島南岸の海水浴場を水島港のマリーナに向け、2隻が共に出航した。 知人は、玉島ハーバーアイランド南南西方沖を並走していた本船が、15時27分ごろ急旋回し、船長が落水してすぐに浮いてきたところを目撃した。 知人は、本船が数分経過しても追走しないことに気付いて引き返し

	<p>たところ、本船が、無人の状態に漂流しており、船長が見当たらないので、118番に通報を行った後、本船の付近を捜索し、16時00分ごろ海面に浮いた状態の船長を発見した。</p> <p>船長は、来援した巡視船に収容され、心肺蘇生を受けながら水島港の県営2号棧橋まで移送され、病院に救急車で搬送されたものの、17時26分に死亡が確認され、溺水と検案された。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図 参照)</p>
その他の事項	船長は、本事故当時、救命胴衣を着用していなかった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 船長の死因は溺水であった。 本船は、玉島ハーバーアイランド南南西方沖を航行中、急旋回したことから、船長が落水して溺死したものと考えられるが、それらの状況については明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が、玉島ハーバーアイランド南南西方沖を航行中、急旋回したため、船長が落水して溺水したことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・水上オートバイに乗船するときは救命胴衣を着用すること。

付図1 事故発生場所概略図

